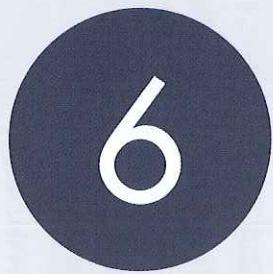


ふれあい

2013



No.315

牛久愛和総合病院 広報誌



「ひたち海浜公園 ネモフィラ」

撮影：情報システム管理室 有国 圭司

胃癌とビルロート

外科医長 藤田 俊広



胃癌は東アジアの風土病、といふ冗談があるほど日本や韓国などで多く見られる疾患です。そのような背景もあり多くの手術を重ねてきたことによって、今日の日本の胃癌診療は、診断、内視鏡治療、手術、化学療法といったすべてにおいて世界的にリードしています。特に胃癌手術においては、世界最高レベルだとと言えます。

ところで世界で胃癌手術を初めて成功させたのは、1881年、ドイツのオーストリア人、テオドール・ビルロートという外科医とその一門です。19世紀末のヨーロッパは外科学が大きく発展した時代でした。しかししながら、内視鏡はもちろんレントゲンも抗生素もなく、麻酔は布に浸したクロロホルムを鼻と口にあてるだけ、滅菌消毒や電灯も開発されたばかりでした。なうえに、生きた人間の胃や腸を切つてつなぐこと自体まだ困難と考へられていました。

ビルロートは、問診と触診のみで42歳の女性患者を胃癌と診断し、1時間半の手術を行い、14センチにも及ぶ胃癌の切除に成功しました。彼女は術後完全に回復し、食事をすることもできました。ビルロートはその後も改良を加え、12例ほどの手術を成功させました。現在から考えると、素手で立ち向かうような環境で挑戦し続けた彼の意志の強さには目指すべき外科医の姿があると思います。

彼が研究し施した胃癌手術の縫合形式は「ビルロート1法」「ビルロート2法」と名付けられており、その後100年以上経つても残されています。現代の日本でも彼の名前を知らない外科医はないのです。

胃切除の手術に成功はしましてが癌の再発をビルロートの時代には克服することはできませんでした。しかし彼は論文に「決して振り返るな、いつも前に」と書いています。さらなる研究と工夫が必ずや手術の結果向上させるという信念があつたのでしょうか。一方「決して勝算のない手術をするべきでない」と弟

難と考えられた時代だつたのです。

ビルロートは、問診と触診の

難と考へられていました。

「患者の同意のない手術をしてはならない」ともあります。

胃癌治療をあけぼのに導いた彼も慎重で実直であつたことがうかがえます。

現代、医療技術の進歩により胃癌の外科治療成績は安定していました。しかしながら、高齢の胃癌患者は増加していますし、胃切除後の後遺症なども問題になっています。これらは、ビルロートの時代になかつた新たな問題なのです。ビルロートは論文に「癌の克服のためには早期診断と体に優しい手術が今後期待される」とも書いていました。今日の日本でもビルロートの予見したとおり、早期発見することが効果的といえるでしょう。

余談になりますが、ビルロートは大変音楽を愛し、自宅でコンサートを開くほどでした。同時代の音楽家ヨハネス・ Brahms と親交があり、ブラームスの弦楽四重奏曲の第一番と第二番は彼に捧げられた曲だそうです。「医師は医学のみならず、歴史や文学などにも幅広く教養を広げ人間性を養うべき」と弟子たちに説いていた彼の姿勢に敬服させられます。

春秋園だより

六月に入り、衣替えの季節を迎える。今年もジメジメとした梅雨を越さなくてはいけないかと思いきや、まだまだ半袖で過ごすには寒いくらいですね。皆様、いかがお過ごしですか？

す。ご利用者様の中には自宅でのリハビリを兼ねて作った作品を他の方にも見て欲しいと持参される方もいらっしゃいます。



素材を使って漢字を表現した
物、自分の洋服にデザインした
物等、他の利用者様やスタッフ
をも唸らせるような作品も展示
しております。スタッフも負け
じと折り紙で作品を折つたり、
新聞紙で小物を作つたりと、皆
様に楽しく一日を過ごして預け
るように努力しています。ぜひ
皆さんのお子様の素敵な作品を見にいら
して下さいね。

(春秋園通所スタッフ一同)

部署別対抗体育祭



当院に入職された新人さんと先輩スタッフとの交流や他部署間との楽しい交流の機会を設けたいという思いから始まつた企画、「牛久愛和総合病院部署別対抗体育祭」ですが大盛況の中、今年で3回目を迎える運びとなりました。

敗の力ギとなる団体競技「引き」「大縄跳び」「ムカデ競争」、子供達による「ちびっこレース」、新種目「女性限定騎馬戦」、そして体育祭の花形「役職者騎馬戦」や「部署別対抗リレー」など盛りだくさんです。体育祭が始まると、体育館

当日は21部署・約500名の職員の参加があり、16のチームに分かれて行われました。部署別対抗の名の通り16チームを色別に分け、それぞれのチーム色ハチマキを巻いてのチーム対抗戦です。

内はすぐさま熱氣にあふれ、応援隊の歓声や各競技を通して新人さんと先輩スタッフとの息の合ったコンビプレーなどで大いに盛り上がらりました。中でも、高崎院長をはじめや役職者を大将にした騎馬

競技種目は、昨年同様「年代別徒競走」に始まり、パン食い競争や早着替えなど多種競技でリレーしていく「いろいろリレー」、チームワークが勝

戦や女性限定騎馬戦では各チーム大奮闘し迫力満点でした。体育祭も回を重ねることに職員のお子さんの参加も増え、競技参加者や応援隊も含め、

全員で楽しまれている姿がとても印象的でした。

おわりに、体育祭を開催するにあたり、当日の進行にご

協力下さった参加者の方々、
カメラマンとして楽しい写真

《結果》

スタッフの皆さんに深く感謝致します。

をたくさん残して下さった循環器科山崎Dr、実行委員として企画・運営に尽力した高橋

A group photo of the Asama team, including the coach and children, posing on a basketball court. The team members are wearing black t-shirts with 'ASA-MA' printed on them. Some individuals are holding pink ribbons or certificates. In the background, a basketball hoop and other players are visible.

A5・ME チーム

3位 春秋園チーム

準優勝 A5 病棟・M
E

優勝リハビリチーム（3連覇！）

(文責 リハビリ 医事課チーム 植田)



天気予報は雨でしたが、子どもたちが何日も前からてるてる坊主を沢山作り、その日の天気を祈りました。子どもたちの願いが空に届き晴れたり曇つたりの一日でした。参加者は計98名です。高崎自然の森には、沢山の散策コースがあります。広い森の中を歩きました。芝生の近道を見つけると、走つたり転がつたり…。とてもダイナミックに遊んでいました。昼食後は、わらべうたや、ふれあい遊びを通して、親子のふれあいを楽しみました。その後は、広い広場での「しっぽとりゲーム」「らかんさん」「こいのたきのぼり」等、普段保育園の中では、なかなかできない遊びを、お父さん、お母さん、保育士も一緒に十分に楽しむことができました。（章間）

編集だより

じめっとした梅雨の蒸し暑い日が続いています。気温の変化で体調を崩しやすい時期です。規則正しい生活を心掛けて、梅雨の時期を乗り切っていきましょう。（H・U）

マリア・ナーサリーでは、5月19日(日)に、高崎自然の森へ親子遠足に行きました。その日の天気予報は雨でしたが、子どもたちが何日も前からてるてる坊主を沢山作り、その日の天気を祈りました。子どもたちの願いが空に届き晴れたり曇つたりの一日でした。参加者は計98名です。高崎自然の森には、沢山の散策コースがあります。広い森の中を歩きました。芝生の近道を見つけると、走つたり転がつたり…。とてもダイナミックに遊んでいました。昼食後は、わらべうたや、ふれあい遊びを通して、親子のふれあいを楽しみました。その後は、広い広場での「しっぽとりゲーム」「らかんさん」「こいのたきのぼり」等、普段保育園の中では、なかなかできない遊びを、お父さん、お母さん、保育士も一緒に十分に楽しむことができました。（章間）

親子遠足

5/19

院内感染対策講習会（前期）
講師：東京サラヤ株式会社
・学術部 羽鳥 真美氏
斎藤 有香氏

5/21・6/12

今年度の院内感染対策講習会（上期・下期）は、多くの職員に参加していただきことを目的に、同一内容で2回実施する企画を立てました。

前期の内容は、標準予防策の講義+実技とし実際に防護具の着脱をスタッフに実施していました。普段なにげなく行なっていました。普段なにげなく行なっている工程も講師の指導の下、実施することでスタッフの見本となり現場での教育に活かされることを期待したいと思います。（院内感染対策室・岩淵）

診療科目

【一般外来】

総合診療科(内科)、消化器内科、内分泌内科、糖尿病・代謝内科、循環器科、呼吸器内科、血液内科、腎臓内科、神経内科、リウマチ科、心療内科、小児科、総合外科、救急科、甲状腺・内分泌外科、呼吸器外科、乳腺科、消化器外科、内視鏡科、形成外科、整形外科、ペインクリニック科、産婦人科、脳神経外科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、皮膚科、歯科口腔外科、透析外来（シャント外来）

【専門外来】

整形専門（股関節、脊椎、スポーツ）

小児科（小児循環器、小児心理）

循環器（心臓血管外科）

皮膚科（レーザー）

病院理念 我々は医療全般は基より、3つの柱「救急医療」「予防医療」「高齢者医療」を通じて地域住民の皆様に最高の医療・福祉を提供すると共に、職員一同自己研鑽に励みます。

病院概要

病床数 489床（一般434床 医療療養型55床）

施設

敷地 59,449.60 m² 駐車場 1032台



日本医療機能評価機構認定病院
医療法人社団 常仁会

牛久愛和総合病院

〒300-1296 茨城県牛久市猪子町896番地
Tel 029-873-3111 Fax 029-874-1031
ホームページ <http://www.jojinkai.com>

《関連施設》

総合健診センター

Tel 029-873-4334

健康増進施設 スポーツリラックス

Tel 029-874-8791

介護老人保健施設 春秋園

Tel 029-870-3100

